

1. 医薬品情報

2) 新薬・効能追加情報

● 薬価基準収載医薬品 (2019.2.26) - 新医薬品・再生医療等製品 -

【14成分20品目】

内用薬

薬価 収載日	薬効分類	商品名	規格 単位	薬価(円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量
2/26	抗てんかん 剤	ビムバットドライ シロップ10%	10%1g	386.20	プラスチックボ トル 100g、 500g	ユーシー ビージャパン 販売元/第 一三共	ラコサミド (劇、処方)	てんかん患者の 部分発作（二 次性全般化発 作を含む）	
<p>【用法・用量】</p> <p>成人： 通常、成人にはラコサミドとして1日100mg（ドライシロップとして1g）より投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mg（ドライシロップとして2g）とするが、いずれも1日2回に分けて用時懸濁して経口投与する。なお、症状により1日400mg（ドライシロップとして4g）を超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg（ドライシロップとして1g）以下ずつ行うこと。</p> <p>小児： 通常、4歳以上の小児にはラコサミドとして1日2mg/kg（ドライシロップとして20mg/kg）より投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg（ドライシロップとして20mg/kg）ずつ増量し、維持用量を体重30kg未満の小児には1日6mg/kg（ドライシロップとして60mg/kg）、体重30kg以上50kg未満の小児には1日4mg/kg（ドライシロップとして40mg/kg）とする。いずれも1日2回に分けて用時懸濁して経口投与する。なお、症状により体重30kg未満の小児には1日12mg/kg（ドライシロップとして120mg/kg）、体重30kg以上50kg未満の小児には1日8mg/kg（ドライシロップとして80mg/kg）を超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg（ドライシロップとして20mg/kg）以下ずつ行うこと。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。</p>									
2/26	アルコール 依存症 飲酒量低 減薬	セリンコ錠 10mg	10mg 1錠	296.40	PTP 40錠(10錠 ×4)、 100錠(10 錠×10)	大塚製薬	ナルメフェン 塩酸塩水 和物 (劇、処方)	アルコール依存症 患者における飲 酒量の低減	通常、成人にはナルメフェン塩酸塩として1回10mgを飲酒の1～2時間前に経口投与する。ただし、1日1回までとする。なお、症状により適宜増量することができるが、1日量は20mgを超えないこと。
2/26	末梢性神 経障害性 疼痛治療 剤	タリージ錠 2.5mg タリージ錠 5mg タリージ錠 10mg タリージ錠 15mg	2.5mg 1錠 5mg 1錠 10mg 1錠 15mg 1錠	78.00 107.70 148.70 179.60	PTP 100錠 PTP 100錠 PTP 100錠 PTP 100錠	第一三共	ミロガリン ベシル酸塩 (処方)	末梢性神経障 害性疼痛	通常、成人には、ミロガリンとして初期用量1回5mgを1日2回経口投与し、その後1回用量として5mgずつ1週間以上の間隔をあけて漸増し、1回15mgを1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により1回10mgから15mgの範囲で適宜増減し、1日2回投与する。
2/26	選択的ミネ ラルコルチ コイド受容 体ブロッカ ー	ミネプロ錠 1.25mg ミネプロ錠 2.5mg ミネプロ錠5mg	1.25mg 1錠 2.5mg 1錠 5mg 1錠	46.90 89.90 134.90	PTP 100錠 PTP 100錠 PTP 100錠	第一三共	エサキセレン (処方)	高血圧症	通常、成人にはエサキセレンとして2.5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合は、5mgまで増量することができる。
2/26	チロシン水 酸化酵素 阻害剤	デムサーカプセル 250mg	250mg 1カプセル	5,853.50	100カプセル (バラ)	小野薬品 工業	メチロシン (劇、処方)	褐色細胞腫のカ テコールアミン分 泌過剰状態の改 善	通常、成人及び12歳以上の小児にはメチロシンとして1日500mgから経口投与を開始する。効果不十分な場合は、経過を十分に観察しながら3日間以上の間隔を置いて1日250mg又は500mgずつ漸増し、患者の尿中カテコールアミン量及び症状の十分な観察のもと、適宜増減する。ただし、1日最高用量は4,000mg、1回最高用量は1,000mg、投与間隔は4時間以上とし、1日500mgは1日2回、1日750mgは1日3回、1日1,000mg以上は1日4回に分割する。

薬価 収載日	薬効分類	商品名	規格 単位	薬価(円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量
2/26	GnRHアン タゴニスト ※ GnRH： 性腺刺激 ホルモン放 出ホルモン	レルミナ錠 40mg	40mg 1錠	905.70	100錠 (10錠×10)	武田薬品 工業 発売元/あ すか製薬	レルゴリクス (劇、処方)	子宮筋腫に基づ く下記諸症状の 改善 過多月経、下腹 痛、腰痛、貧血	通常、成人にはレルゴリクスとして40mgを1日 1回食前に経口投与する。なお、初回投与は 月経周期1～5日目に行う。
2/26	抗悪性腫 瘍剤/チロ シンキナー ゼ阻害剤	ビジンプロ錠 15mg	15mg 1錠	3,850.60	30錠(PTP) 10錠/シート× 3シート	ファイザー	ダコチニブ 水和物 (劇、処方)	EGFR 遺伝子変 異陽性の手術不 能又は再発非小 細胞肺癌	通常、成人にはダコチニブとして1日1回 45mgを経口投与する。なお、患者の状態に より適宜減量する。
		ビジンプロ錠 45mg	45mg 1錠	10,748.00	10錠(PTP) 10錠/シート× 1シート				
2/26	抗悪性腫 瘍剤 BRAF阻 害剤	ビラフトピカプセル 50mg	50mg 1カプセル	3,180.70	60カプセル (PTP)	小野薬品 工業	エンコラフェニ ブ (劇、処方)	BRAF 遺伝子変 異を有する根治 切除不能な悪性 黒色腫	ビメチニブとの併用において、通常、成人に はエンコラフェニブとして450mgを1日1回経 口投与する。なお、患者の状態により適宜減 量する。
2/26	抗悪性腫 瘍剤 MEK阻害 剤	メクトビ錠 15mg	15mg 1錠	4,836.80	100錠 (PTP)	小野薬品 工業	ビメチニブ (劇、処方)	BRAF 遺伝子変 異を有する根治 切除不能な悪性 黒色腫	エンコラフェニブとの併用において、通常、成人 にはビメチニブとして1回45mgを1日2回経 口投与する。なお、患者の状態により適宜減 量する。
2/26	抗ウイルス 剤	エブクルーサ配 合錠	1錠	60,154.50	14錠 (7錠×2) PTP	ギリアド・サ イエンズ	ソホスビル /ベルパタス ビル (処方)	前治療歴を有す るC型慢性肝炎 又はC型代償性 肝硬変におけるウ イルス血症の改 善	リバビリンとの併用において、通常、成人には、 1日1回1錠（ソホスビルとして400mg及び ベルパタスビルとして100mg）を24週間経 口投与する。
								C型非代償性肝 硬変におけるウ イルス血症の改 善	通常、成人には、1日1回1錠（ソホスビル として400mg及びベルパタスビルとして 100mg）を12週間経口投与する。

注射薬

薬価 収載日	薬効分類	商品名	規格 単位	薬価(円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量
2/26	抗てんかん 剤	ビムバット点滴 静注200mg	200mg 20mL1 瓶	4,252	5バイアル	ユーシー ビー・ジャパ ン 販売元/第 一三共	ラコサミド (劇、処方)		
<p>[効能・効果] 一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対するラコサミド経口製剤の代替療法 てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）</p> <p>[用法・用量] ラコサミドの経口投与から本剤に切り替える場合： 通常、ラコサミド経口投与と同じ1日用量及び投与回数にて、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。 ラコサミドの経口投与に先立ち本剤を投与する場合： 成人：通常、成人にはラコサミドとして1日100mgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mgとするが、いずれも1日2回に分け、 1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。 小児：通常、4歳以上の小児にはラコサミドとして1日2mg/kgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kgずつ増量し、維持用量を 体重30kg未満の小児には1日6mg/kg、体重30kg以上50kg未満の小児には1日4mg/kgとする。いずれも1日2回に分け、1回量を30分から60分かけて 点滴静脈内投与する。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。 いずれの場合においても、症状により適宜増減できるが、1日最高投与量及び増量方法は以下のとおりとすること。 成人：成人では1日最高投与量は400mgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg以下ずつ行う。 小児：4歳以上の小児のうち体重30kg未満の小児では1日12mg/kg、体重30kg以上50kg未満の小児では1日8mg/kgを超えないこととし、増量は1週間以上の 間隔をあけて1日用量として2mg/kg以下ずつ行う。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ1日最高投与量及び増量方法とすること。</p>									

薬価 収載日	薬効分類	商品名	規格 単位	薬価(円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量
2/26	ヒト化抗ス クレロスチン モノクローナ ル抗体製 剤	イベニティ皮下 注105mgシリ ンジ	105mg 1.17m L1筒	24,720	シリンジ2本	アステラス・ アムジェン・ バイオファーマ 発売/アス テラス製薬	ロモソズマブ (遺伝子 組換え) (生物、処 方)	骨折の危険性の 高い骨粗鬆症	通常、成人にはロモソズマブ（遺伝子組換え）として210mgを1か月に1回、12か月皮下投与する。
2/26	β-ラクタ マーゼ阻害 剤配合抗 生物質製 剤	ザバクサ配合点 滴静注用	1.5g 1瓶	6,335	10バイアル	MSD	タゾバクタム ナトリウム/ セフトロザン 硫酸塩 (処方)	〈適応菌種〉 本剤に感性のレ ンサ球菌属、大 腸菌、シトロバク ター属、クレブシエ ラ属、エンテロバク ター属、プロテウス 属、緑膿菌 〈適応症〉 膀胱炎、腎盂腎 炎、腹膜炎、腹 腔内膿瘍、胆嚢 炎、肝膿瘍	通常、成人には1回1.5g（タゾバクタムとして0.5g／セフトロザンとして1g）を1日3回60分かけて点滴静注する。 なお、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、肝膿瘍に対しては、メトロニダゾール注射液と併用すること。

再生医療等製品

薬価 収載日	薬効分類	商品名	規格 単位	薬価(円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量
2/26	ヒト細胞加 工製品 02 ヒト体 性幹細胞 加工製品 ヒト(自己) 骨髄由来 間葉系幹 細胞	ステミラック注	1回分	14,957,755	—	ニプロ	自己骨髄 間葉系幹 細胞	【効能・効果】 脊髄損傷に伴う神経症候及び機能障害の改善。 ただし、外傷性脊髄損傷で、ASIA機能障害尺度が A、B又はCの患者に限る。	【用法・用量】 骨髄液の採取は、患者の全身状態等を考慮した上で、脊髄損傷受傷後31日以内を目安に実施する。また、製品が製造され次第、可能な限り速やかに投与する。 1.本品の原料採取時に行う事項 (1) 患者から末梢血を採取する。採取した末梢血は採血キットの構成体である容器（ニプロセルトリー 血清用）に入れ密封する。 末梢血の入った容器は製造販売業者の指定する施設へ運搬する。 (2) 患者から骨髄液を採取する。採取した骨髄液は、骨髄採取キットの構成体である骨髄希釈液DMEMとともに容器（ニプロセルトリー 骨髄用）に入れ、混合して密封する。骨髄液の入った容器は製造販売業者の指定する施設へ運搬する。 2.本品を患者に適用する際に行う事項 自己骨髄間葉系幹細胞として1回 $0.5 \times 10^8 \sim 2.0 \times 10^8$ 個（最大投与量は体重1kgあたり 3.34×10^6 個）を、生理食塩液で3倍以上に希釈しながら、本品の流量0.7～1.0mL/分を目安に点滴静注する。